

この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しく下さい。

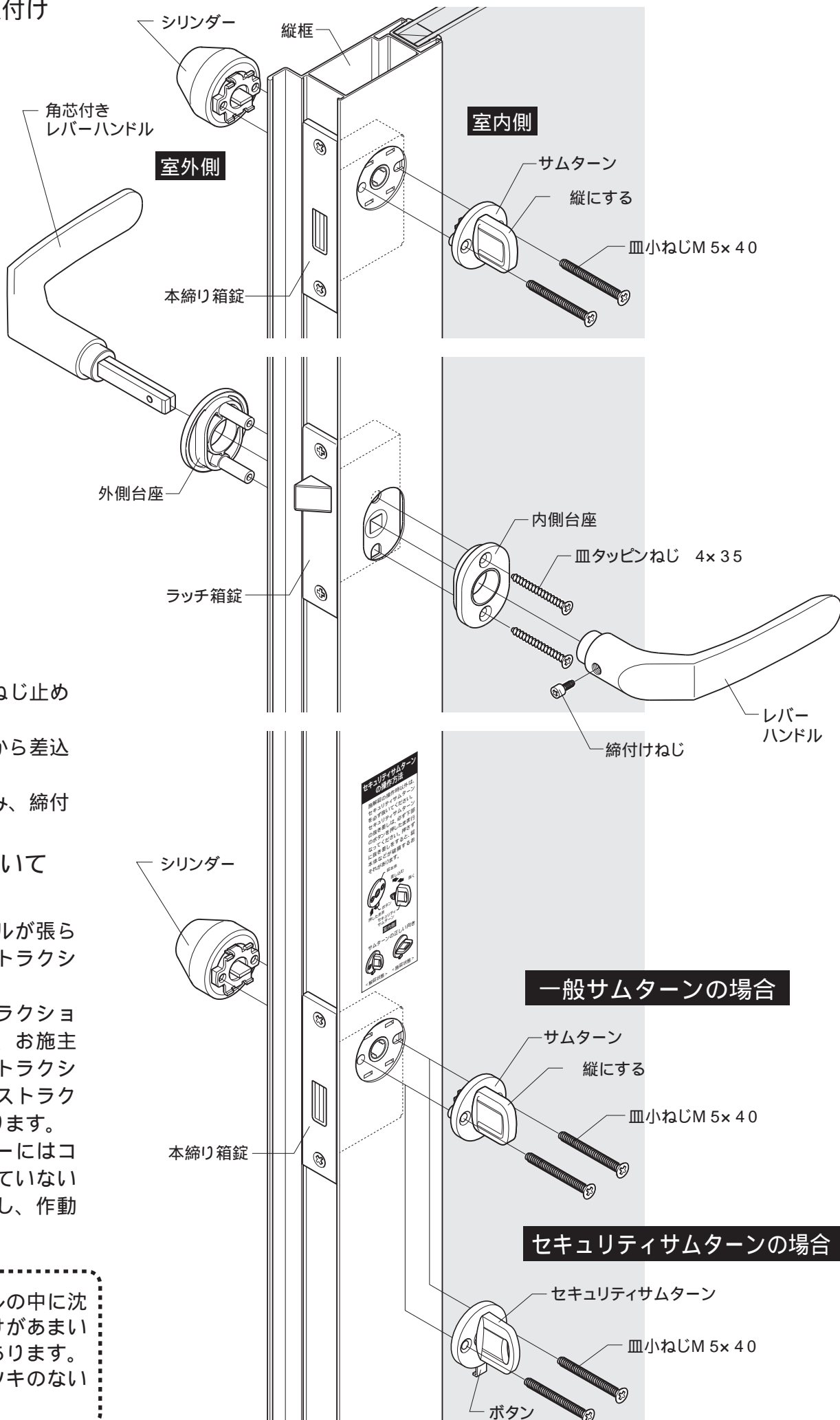
取付け上のお願

本製品の鍵穴に、スプレー式潤滑油(CRC556など)やマシン油を注入しないでください。不具合の原因になります。万一鍵がスムーズに動かない場合は、当社指定の鍵穴用パウダー潤滑剤(DASZ020)又は鉛筆の芯を粉状にして注入してください。

取付け順序

1 シリンダー・サムターンの取付け

シリンダーを箱錠の丸穴に差込みます。
シリンダーに上下の向きはありません。
サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。
セキュリティサムターンの場合は、ボタンを下にして箱錠の丸穴に差込みます。
サムターンのツマミは縦にしてください。
サムターンをシリンダーにねじ止めします。
サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの上に張ってください。
上・下用のシリンダー・サムターンの区別はありません。



2 レバーハンドルの取付け

外側台座を室外側から差込みます。
内側台座を室内側から外側台座にねじ止めします。
角芯付きレバーハンドルを室外側から差込みます。
レバーハンドルを室内側から差込み、締付けねじで固定します。

3 コンストラクション装置について (装置付きの場合)

シリンダー2個のうち、封印シールが張られていないシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれています。
施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以降はコンストラクションキーでは施解錠できなくなります。
封印シールが張ってあるシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれていないため、お引渡し時にシールをはがし、作動を確認してください。

お願い

締付けねじは必ずレバーハンドルの中に沈むまで締付けてください。締付けがあまいと、開閉に支障が出るおそれがあります。ねじ止めした後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。